

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち																																																																																																																									
施策No.	29	施 策 名	学校教育の充実																																																																																																																									
主管課名	学校教育課																																																																																																																											
関係課名	教育総務課、学校給食センター、こども課																																																																																																																											
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が意欲的に学習に取り組むための教育内容が充実しています。 だれもが能力に応じて十分な教育を受けることができる支援体制が整っています。 規則正しい生活や望ましい食習慣により、元気に学校生活を送っています。 安全で心地よく学習できる環境が整備されています。 																																																																																																																											
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 事 業 民 所	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣を身に付けさせ、学校教育に対する理解と協力に努めます。 																																																																																																																										
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣を身に付けさせ、学校教育に対する理解と協力に努めます。 																																																																																																																										
	そ(地 の 他)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣を身に付けさせ、学校教育に対する理解と協力に努めます。 																																																																																																																										
市民意識 調査結果	<p><施策実感度調査結果>※26年度までは「満足度」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>24年度</th><th>25年度</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.136</td><td>0.170</td><td>0.133</td><td>0.269</td><td>0.315</td></tr> </tbody> </table> <p><施策重要度調査結果></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>24年度</th><th>25年度</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.818</td><td>0.859</td><td>0.742</td><td>0.968</td><td>0.950</td></tr> </tbody> </table>			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.136	0.170	0.133	0.269	0.315	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.818	0.859	0.742	0.968	0.950																																																																																																					
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																																																																																																																								
0.136	0.170	0.133	0.269	0.315																																																																																																																								
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																																																																																																																								
0.818	0.859	0.742	0.968	0.950																																																																																																																								
施策の トータルコスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>単位</th> <th>23年度実績</th> <th>24年度実績</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A. 本施策を構成する事務事業の数</td> <td>本数</td> <td>—</td> <td>36 (34)</td> <td>39 (37)</td> <td>44 (42)</td> <td>44 (42)</td> <td>43 (41)</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)</td> <td>本数</td> <td>—</td> <td>9 (9)</td> <td>9 (9)</td> <td>9 (9)</td> <td>9 (9)</td> <td>9 (9)</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)</td> <td>本数</td> <td>—</td> <td>4 (4)</td> <td>5 (5)</td> <td>9 (9)</td> <td>8 (8)</td> <td>8 (8)</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)</td> <td>本数</td> <td>—</td> <td>9 (7)</td> <td>9 (7)</td> <td>10 (8)</td> <td>10 (8)</td> <td>9 (7)</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)</td> <td>本数</td> <td>—</td> <td>14 (14)</td> <td>16 (16)</td> <td>16 (16)</td> <td>17 (17)</td> <td>17 (17)</td> </tr> <tr> <td>B. 事業費 (事務事業の事業費合計)</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>391,797</td> <td>455,995</td> <td>437,324</td> <td>547,717</td> <td>1,657,023</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>39,633</td> <td>40,473</td> <td>42,022</td> <td>53,970</td> <td>26,843</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>9,706</td> <td>10,231</td> <td>12,692</td> <td>11,069</td> <td>10,477</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>120,647</td> <td>125,045</td> <td>151,346</td> <td>124,844</td> <td>123,515</td> </tr> <tr> <td>うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>221,811</td> <td>280,246</td> <td>231,264</td> <td>357,834</td> <td>1,496,188</td> </tr> <tr> <td>C. 施策に携わる正規職員数合計</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>52</td> <td>62</td> <td>67</td> <td>70</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>D. 事務事業に要する年間総時間</td> <td>時間</td> <td>—</td> <td>30,580</td> <td>28,690</td> <td>30,470</td> <td>31,400</td> <td>14,200</td> </tr> <tr> <td>E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>134,521</td> <td>120,326</td> <td>133,520</td> <td>131,283</td> <td>58,376</td> </tr> <tr> <td>F. トータルコスト (B+E)</td> <td>千円</td> <td>—</td> <td>526,318</td> <td>576,321</td> <td>570,844</td> <td>679,000</td> <td>1,715,399</td> </tr> </tbody> </table>			区 分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	36 (34)	39 (37)	44 (42)	44 (42)	43 (41)	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (9)	9 (9)	9 (9)	9 (9)	9 (9)	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	4 (4)	5 (5)	9 (9)	8 (8)	8 (8)	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (7)	9 (7)	10 (8)	10 (8)	9 (7)	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	14 (14)	16 (16)	16 (16)	17 (17)	17 (17)	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	391,797	455,995	437,324	547,717	1,657,023	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	39,633	40,473	42,022	53,970	26,843	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	9,706	10,231	12,692	11,069	10,477	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	120,647	125,045	151,346	124,844	123,515	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	221,811	280,246	231,264	357,834	1,496,188	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	52	62	67	70	62	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	30,580	28,690	30,470	31,400	14,200	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	134,521	120,326	133,520	131,283	58,376	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	526,318	576,321	570,844	679,000	1,715,399
区 分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績																																																																																																																				
A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	36 (34)	39 (37)	44 (42)	44 (42)	43 (41)																																																																																																																					
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (9)	9 (9)	9 (9)	9 (9)	9 (9)																																																																																																																					
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	4 (4)	5 (5)	9 (9)	8 (8)	8 (8)																																																																																																																					
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	9 (7)	9 (7)	10 (8)	10 (8)	9 (7)																																																																																																																					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	14 (14)	16 (16)	16 (16)	17 (17)	17 (17)																																																																																																																					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	391,797	455,995	437,324	547,717	1,657,023																																																																																																																					
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	39,633	40,473	42,022	53,970	26,843																																																																																																																					
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	9,706	10,231	12,692	11,069	10,477																																																																																																																					
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	120,647	125,045	151,346	124,844	123,515																																																																																																																					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	221,811	280,246	231,264	357,834	1,496,188																																																																																																																					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	52	62	67	70	62																																																																																																																					
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	30,580	28,690	30,470	31,400	14,200																																																																																																																					
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	134,521	120,326	133,520	131,283	58,376																																																																																																																					
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	526,318	576,321	570,844	679,000	1,715,399																																																																																																																					
効率性 指 標	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B／人口)</td> <td>円</td> <td>—</td> <td>8,841</td> <td>10,355</td> <td>10,041</td> <td>12,693</td> <td>38,801</td> </tr> <tr> <td>同 上</td> <td>円</td> <td>—</td> <td>3,036</td> <td>2,732</td> <td>3,066</td> <td>3,042</td> <td>1,367</td> </tr> <tr> <td>H. 人件費 (定義式 : E／人口)</td> <td>円</td> <td>—</td> <td>11,877</td> <td>13,087</td> <td>13,106</td> <td>15,735</td> <td>40,168</td> </tr> <tr> <td>I. トータルコスト (定義式 : F／人口)</td> <td>円</td> <td>—</td> <td>4,399</td> <td>4,194</td> <td>4,382</td> <td>4,181</td> <td>4,111</td> </tr> </tbody> </table>			市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B／人口)	円	—	8,841	10,355	10,041	12,693	38,801	同 上	円	—	3,036	2,732	3,066	3,042	1,367	H. 人件費 (定義式 : E／人口)	円	—	11,877	13,087	13,106	15,735	40,168	I. トータルコスト (定義式 : F／人口)	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111																																																																																									
市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B／人口)	円	—	8,841	10,355	10,041	12,693	38,801																																																																																																																					
同 上	円	—	3,036	2,732	3,066	3,042	1,367																																																																																																																					
H. 人件費 (定義式 : E／人口)	円	—	11,877	13,087	13,106	15,735	40,168																																																																																																																					
I. トータルコスト (定義式 : F／人口)	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111																																																																																																																					
参 考	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1時間あたりの平均人件費</td> <td>円</td> <td>—</td> <td>44,315</td> <td>44,036</td> <td>43,555</td> <td>43,152</td> <td>42,706</td> </tr> <tr> <td>魚津市の人口(各年度12月末時点)</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>44,315</td> <td>44,036</td> <td>43,555</td> <td>43,152</td> <td>42,706</td> </tr> </tbody> </table>			1時間あたりの平均人件費	円	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706																																																																																																									
1時間あたりの平均人件費	円	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706																																																																																																																					
魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706																																																																																																																					

基本事業概要シート①

施策No.	29	施 策 名	学校教育の充実								
基本事業名①	確かな学力を育む教育の推進										
基本事業①の目的(意図)	児童生徒が意欲的に学習に取り組むための教育内容、環境が充実しています。										
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【外国語指導助手導入事業】 ・東西中学校に1名ずつ外国語指導助手を配置し、英語の授業及び小学校の外国語活動の補助を行いました。</p> <p>【特別支援教育推進事業】 ・発達障害等、特別な支援が必要な児童生徒に対して、にこにこ相談会の実施、タブレット型端末の配布など学習指導上の支援を行いました。</p> <p>【学力向上プラン研究事業】 ・小中学校の拠点校を中心とした確かな学力の育成のための実践研究と検証改善を推進するとともに、標準学力調査(5・6年)による実証・分析を行いました。また、中央の講師を招へいし、学力向上研修会を実施しました。</p> <p>【小学校教科用図書給付事業、中学校教科用図書給付事業】 ・小中学校教科用図書や道徳、体育などの準教科書を無償配布しました。</p> <p>【小学校教育研究事業、中学校教育研究事業】 ・教職員の指導力向上を目的とした研修会を11回(協業研修3回含む)行いました。 ・「魚津っ子の学び向上委員会」を2回開催しました。</p>										
成果指標名			単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
				H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
小:学習の達成状況 (4教科、小教研学力調査から県平均に対する市平均の割合)			%	97.2	101.0	98.4	101.2	101.4	101.6	101.8	102.0
中:学習の達成状況 (5教科、中教研学力調査から県平均に対する市平均の割合)			%	87.8	92.3	94.0	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0
基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)											
No.	会計名	事務事業名	平成28年度				担当課				
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果					
1	一般会計	◎ 外国語指導助手導入事業	10,535,000	9,368,970	1,166,030	B	学校教育課				
2	一般会計	◎ 特別支援教育推進事業	12,909,000	10,801,079	2,107,921	A	学校教育課				
3	予算なし	学習支援員派遣事業	0	0	0	-	学校教育課				
4	予算なし	学力向上プラン研究事業	0	0	0	-	学校教育課				
5	予算なし	教育センター運営費	0	0	0	-	学校教育課				
6	予算なし	小学校教科用図書給付事業	0	0	0	-	学校教育課				
7	一般会計	◎ 小学校教育研究事業	5,646,000	5,093,472	552,528	A	学校教育課				
8	予算なし	中学校教科用図書給付事業	0	0	0	-	学校教育課				
9	一般会計	◎ 中学校教育研究事業	1,768,000	1,579,901	188,099	A	学校教育課				
10					0						
11					0						
12					0						
13					0						
14					0						
15					0						
16					0						
17					0						
18					0						
19					0						
20					0						
21					0						
22					0						
23					0						
24					0						
25					0						
26					0						
27					0						
28					0						
29					0						
30					0						
合 計			30,858,000	26,843,422	4,014,578						

基本事業概要シート②

施策No.	29	施 策 名	学校教育の充実
基本事業名②	豊かな心を育む教育の推進		
基本事業②の目的(意図)	コミュニケーション能力の向上とともに、豊かな心を育むための教育環境が充実しています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【学校司書配置事業】 ・市内の全ての中学校に学校司書を配置し、図書の整備や児童生徒の読書活動の推進に取り組みました。</p> <p>【適応指導教室運営事業】 ・適応指導教室「すまいる」を開設し、不登校傾向の児童生徒の学校復帰を支援しました。</p> <p>【いのちの教育推進事業】 ・いのちの教育推進委員会を設置し、命を大切にする授業や体験学習を実施しました。</p> <p>【社会に学ぶ14歳の挑戦事業】 ・キャリア教育の一環として「社会に学ぶ14歳の挑戦」を実施し、中学2年生が学校外で職場体験活動を行いました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
小:不登校児童の割合 (30日以上欠席の割合)	%	0.21	0.51	0.14	0.40	0.30	0.20	0.10	0.00
				0.54					
中:不登校生徒の割合 (30日以上欠席の割合)	%	2.43	1.85	2.65	1.20	0.90	0.60	0.30	0.00
				3.56					
1か月間に読んだ本の冊数 (読書調査期間:5月)	冊	9.1	8.3	10.4	9.2	9.4	9.6	9.8	10.0
				9.7					

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	子どもの権利推進事業	132,000	88,719	43,281	-	こども課
2	一般会計	◎ 学校司書配置事業	6,092,000	5,523,765	568,235	A	学校教育課
3	一般会計	◎ 適応指導教室運営事業	3,136,000	3,122,816	13,184	A	学校教育課
4	一般会計	◎ いのちの教育推進事業	855,000	425,746	429,254	A	学校教育課
5	一般会計	◎ 社会に学ぶ14歳の挑戦事業	1,383,000	1,316,010	66,990	A	学校教育課
6	予算なし	いじめ防止対策推進事業	0	0	0	-	学校教育課
7	予算なし	10代と赤ちゃん出会い事業	0	0	0	-	学校教育課
8	予算なし	スクールソーシャルワーカー等配置事業	0	0	0	-	学校教育課
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			11,598,000	10,477,056	1,120,944		

基本事業概要シート③

施策No.	29	施 策 名	学校教育の充実						
基本事業名③	健やかな体を育む教育の推進								
基本事業③の目的(意図)	安全で健康な生活及び望ましい食生活など、健康的な生活習慣を形成する環境が整備されています。								
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【食育推進事業】 ・関係各課と連携し、メニュークンテストを実施するなど食育推進計画の推進に取り組みました。 【児童・教職員健康診断事業、生徒・教職員健康診断事業】 ・児童生徒及び教職員の健康診断等を行いました。 【学校給食運営事業】 ・栄養バランスの取れた、安全でおいしい学校給食を提供しました。 ・学校給食における異物混入事故の防止と事故発生時の迅速かつ的確な対応を行うため「魚津市学校給食異物混入対応マニュアル」を策定しました。</p>								

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
けがや病気の件数 (1日あたりの保健室来室人数)	人	4.0	3.6	3.5	2.1	1.9	1.6	1.3	1.0
				4.3					
学校給食の残食率	%	5.3	2.2	1.7	1.2	0.8	0.4	0.2	0.0
				0.8					

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 食育推進事業	503,000	198,350	304,650	B	学校教育課
2	一般会計	○ 児童・教職員健康診断事業	11,539,000	10,743,381	795,619	A	学校教育課
3	一般会計	○ 生徒・教職員健康診断事業	5,772,000	5,044,619	727,381	A	学校教育課
4	予算なし	就学事務	0	0	0	-	学校教育課
5	一般会計	○ 学校給食配達業務	13,616,510	13,540,795	75,715	A	学校給食センター
6	一般会計	○ 学校給食運営事業	83,431,191	83,420,813	10,378	A	学校給食センター
7	一般会計	○ 学校給食施設維持管理事業	10,631,299	10,566,802	64,497	A	学校給食センター
8	予算なし	○ 学校給食ふるさと食材活用事業	0	0	0	A	学校給食センター
9	予算なし	学校給食会計経理事業	0	0	0	-	学校給食センター
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			125,493,000	123,514,760	1,978,240		

基本事業概要シート④

施策No.	29	施 策 名	学校教育の充実						
基本事業名④	教育環境の整備・充実								
基本事業④の目的(意図)	児童生徒が安全で心地よく学習できる環境が整備されています。								
平成28年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【学校規模適正化事業】 -小学校の統合準備会(大町・村木・上野方・本江小)を年5回開催し、統合に向けた準備を進めました。 【小学校維持管理事業、中学校維持管理事業】 -清流小学校の玄関、外壁、ランドセル置き場等の大規模改修など、適正な維持管理を行いました。 【小学校整備事業】 -大町・村木・上野方・本江小学校校舎新築工事を実施しました。また、本江小学校の普通教室の冷房化を実施しました。 【小学校就学援助事業、中学校就学援助事業】 -経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。</p>								

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
小中学校の普通教室の冷房化率	%	0.0	22.9	26.1	36.0	46.0	56.0	66.0	77.4
				37.4					

基本事業④を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 学校規模適正化事業	2,277,000	1,615,052	661,948	A	教育総務課
2	一般会計	教育委員会の会議及び委員に関する事務	636,000	556,726	79,274	-	教育総務課
3	一般会計	教育委員会事務局一般管理事業	7,966,000	7,159,570	806,430	-	教育総務課
4	一般会計	私学等教育振興事業	1,050,000	1,031,072	18,928	-	教育総務課
5	一般会計	奨学金貸付事業	11,986,000	8,092,040	3,893,960	-	教育総務課
6	一般会計	小学校維持管理事業	96,039,000	89,662,363	6,376,637	-	教育総務課
7	一般会計	中学校維持管理事業	31,929,000	28,777,221	3,151,779	-	教育総務課
8	一般会計	教育ネットワーク管理事業	667,000	666,144	856	-	教育総務課
9	一般会計	○ 小学校教育振興・情報化事業	26,818,000	25,364,418	1,453,582	B	教育総務課
10	一般会計	○ 中学校教育振興・情報化事業	8,378,000	7,897,656	480,344	B	教育総務課
11	一般会計	○ 小学校整備事業	1,650,520,000	1,304,886,921	345,633,079	B	教育総務課
12	予算なし	学級編制及び教職員管理事業	0	0	0	-	学校教育課
13	一般会計	◎ 小学校就学援助事業	10,576,000	8,903,011	1,672,989	B	学校教育課
14	予算なし	小学校遠距離通学援助事業	0	0	0	-	学校教育課
15	予算なし	スクールガードリーダー配置事業	0	0	0	-	学校教育課
16	一般会計	○ 中学校就学援助事業	13,198,000	11,575,333	1,622,667	B	学校教育課
17	予算なし	中学校遠距離通学援助事業	0	0	0	-	学校教育課
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			1,862,040,000	1,496,187,527	365,852,473		

施策評価結果シート

施策No.	29	施策名	学校教育の充実
1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)			
<p>【①確かな学力を育む教育の推進】 ◆学習状況については、指標とする県の学力調査において、県平均に対する市平均の割合が、小学校(H22 97.2%→H28 98.7%)、中学校(H22 87.8%→H28 96.0%)と、小・中学校ともに向上する傾向がみられます。</p> <p>【②豊かな心を育む教育の推進】 ◆不登校の児童生徒の割合が、前年度と比較して小学校は0.40ポイント、中学校は0.91ポイント高くなっています。 ◆1ヶ月間に読んだ本の冊数は、平成22年度と比べて一人当たり0.6冊増加して9.7冊となり、最終目標年度目標の10冊に近づいています。</p> <p>【③健やかな体を育む教育の推進】 ◆けがや病気の件数については、前年度と比較して1日当たり0.8人増加し、4.3人となりました。 ◆学校給食の残食率については、市の食育への取組みや栄養教諭の巡回指導等により、前年度と比較して、0.9ポイント減少して0.8%に減少しました。</p> <p>【④教育環境の整備・充実】 ◆小中学校の普通教室の冷房化率は、前年度より11.3ポイント増加し、37.4%となりました。富山県全体の冷房設備設置率(27.6%)を9.6ポイント上回っています。</p>			
2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)			
<p>【①確かな学力を育む教育の推進】 <小学校教育研究事業、中学校教育研究事業> ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の学力向上部会の活動を継続し、市全体で学力向上への取組みを進めた結果、学習状況の指標において向上する傾向がみられました。</p> <p><特別支援教育推進事業、学習支援員派遣事業> ◆発達障害と思われる児童及び学習に不適応を示す児童が増加傾向にあり、特別支援スタディメイトや学習支援員の拡充を図り、児童生徒にきめ細かな指導・支援を行いました。また、英語活動指導員または英語専科教員(県費)を全ての小学校に派遣し、学級担任の支援と児童一人一人の個に応じた指導を行いました。</p> <p>【②豊かな心を育む教育の推進】 <いのちの教育推進事業> ◆児童生徒に命の尊さや思いやりいたわる優しい心を育くむため、市内小中学校で命を大切にする授業や体験活動を実施しました。</p> <p><学校司書配置事業> ◆学校司書を全小中学校に配置し、図書館の図書の整理や読書環境の充実に取り組みました。児童生徒が書物にふれあう機会が増え、授業の調べ学習にも利用しています。今後もその充実に向けて取り組みます。</p> <p>【③健やかな体を育む教育の推進】 <食育推進事業> ◆平成24年度より市の食育推進計画に基づいて、栄養教諭による食育や地場産食材を利用したメニュー・コンテストなどの事業に取り組んだ結果、給食の残食率が減少しました。今後も、家族の団らんの場の増加など児童生徒の健康保持、望ましい食習慣の形成に努めます。</p> <p>【④教育環境の整備・充実】 <小学校就学援助事業、中学校就学援助事業> ◆児童生徒数が減少する中、受給者はほぼ昨年並みで、就学困難と思われる児童生徒の保護者に対して、経済的援助を行いました。</p> <p><学校規模適正化事業、小中学校耐震補強事業> ◆清流小学校の玄関、外壁、ランドセル置き場等の大規模改修など、適正な維持管理を行いました。</p> <p>◆小学校の統合準備会(大町・村木・上野方・本江小)を5回実施するとともに、専門部会を開催し、統合校の開校の準備を進めました。</p> <p>◆大町・村木・上野方・本江小学校校舎新築工事を実施しました。本江小学校の普通教室に冷房設備を設置しました。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①確かな学力を育む教育の推進、②豊かな心を育む教育の推進】 ◆次期学習指導要領の全面実施に向けて、小学校英語教育推進計画を策定し、計画に基づいた取組みを推進します。</p> <p>◆「魚津市教育情報化整備基本計画」に基づき、ICTを活用した教育の推進に取り組みます。</p> <p>◆「魚津市ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、ふるさと教育の推進に取り組みます。</p> <p>◆学校、関係機関と連携した指導により、学校復帰や一時登校など改善傾向に向かう児童生徒がいる一方で、不登校傾向の児童生徒が増えており、学校の早期対応や校長を中心とした組織的な取組みを徹底するとともに、学校と関係機関との連携を一層強化します。</p> <p>【③健やかな体を育む教育の推進】 ◆「食育推進計画」に基づき、関係機関と連携を図りながら、さらに食育の推進に取り組んでいく必要があります。また、これまでの成果と課題を踏まえ、平成29年度からの第二次食育推進計画の策定を行います。</p> <p>【④教育環境の整備・充実】 ◆「小中学校就学援助事業」については、平成28年度の対象者は小学校で6.1%、中学校で9.3%でした。家庭の経済的な理由によらず等しく教育を受けることができるよう支援を行います。</p> <p>◆学校規模適正化のため、今後、平成30年、平成31年4月開校予定の新設校の開設に向け、統合準備会で協議を進めています。</p> <p>◆統合校においては、全室冷房化を進めます。</p>			

部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒の学力向上を図るため、学習支援員やスタディメイト、ALT、学校司書等の支援員の確保に努めること。 ◆計画に基づいて、英語教育やICTを活用した教育、ふるさと教育を推進すること。 ◆食育推進計画に基づき、望ましい食生活の習慣が身に付くよう、具体的な取組みを進めること。 ◆学校規模適正化を推進計画に基づき進めるとともに、きめ細かな教育の充実に努めること。
施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語教育やICTを活用した教育を推進するとともに、個別指導など学習への支援を充実します。 ◆道徳教育やふるさと教育等を推進し、児童生徒の豊かな心を育みます。 ◆望ましい食生活の習慣が身につくよう、食育を推進します。また、学校給食での地場産食材の利用拡大を図ります。 ◆学校規模適正化を進めるとともに、きめ細かな教育の充実に取り組みます。